

新城市民病院 研修レポート
名古屋第一赤十字病院
研修医 1 年目

4 週間という短い間でしたが、新城市民病院にて地域研修をさせて頂きありがとうございました。普段研修を行っている名古屋第一赤十字病院とは異なる環境での研修は、非常に勉強になりまた貴重な経験を多くさせて頂きました。

まず総合診療科初診外来での研修において、名古屋第一赤十字病院のように診療科が細分化されている場合とは異なり、様々な領域の疾患のある患者さんを診療することを通じて、問診や身体診察の重要性を学ぶことが出来ました。また外来治療方針や今後の通院の方針などを患者さんと決めるときに、患者さんの生活背景・家族背景などを共有し合い、方針を立てていく大切さを知ることが出来た。

また新城市民病院での研修を行うまで、自分で診察した外来患者のプレゼンテーションや、上級医を交えた症例検討などは経験があまりなかったため、いかに分かりやすく患者さんについてプレゼンテーションを行うか、また診断や治療のためにどのようにアプローチをしていくかを実践的に学ぶことが出来ました。

また毎朝行われる朝勉強会や UpToDate 勉強会、EBM 勉強会など多くのテーマに関する勉強会が活発に行われ、教科書だけでは学ぶことの出来ない様々な事に触れることができ、非常に勉強になりました。

病院内だけではなく、訪問リハビリや訪問看護、しんしろ助産所や作手診療所など様々な病院外での研修を通じて、地域医療における各地域の特徴や各組織の役割や、実際に活動している内容などを学ぶことができ、今後の地域医療の課題や自分自身が出来る事など様々な事を考えるきっかけになった。

指導医の先生と多くの入院患者さんを診させて頂き、入院中の治療方針はもちろんのこと、リハビリから退院後の生活を検討していく際に多職種間の連携や意見交換、家族との話し合いなど治療以外の場面での医師の役割を実際の患者さんを通じて経験できたことも非常に勉強になりました。

最後になりますが、4 週間の間、新城市民病院の先生方、外来・病棟看護師の方々、リハビリスタッフや事務の方々など多くの方に大変お世話になりました。新城市民病院での経験を活かして、今後も引き続き初期研修に臨みたいと思います。ありがとうございました。